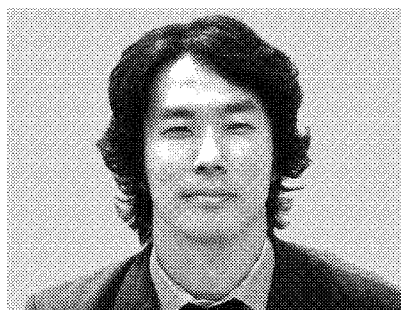


(株)コネクティ

代表取締役社長 服部 恭之氏
東京都港区虎ノ門2・6・4



岩崎弥太郎は吉田東洋に見出され、藩吏の一員として長崎で活躍。地下浪人の長男だったが、志は高く経済にも強い才能が一気に開花した明治期に入ると、元は藩官の商売の経営を引き受けた三菱商會を創設。西南戦争の軍需輸送を担当して莫大な利益を上げ、財閥の礎を築いた。Webサイト制作やリニューアル時のパートナーとして、サイトの継続的価値の向上を目指し総合的にプロデュース。戦略策定、メルマガやSNS連携、SEO対策などワンストップで担い、トータルブランディングでの提案が可能だ。国内エンタープライズCMS製品の自社開発にも成功し、高い志で成長軌道を描く。

(株)インテリボイス

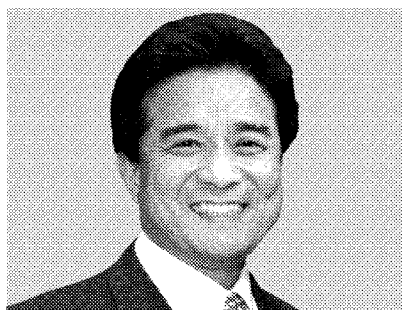
代表取締役社長 中村 健氏
東京都千代田区墨田2・13



坂本龍馬は幕末の多くの志士が依然として、藩、という縛りに捉われていたと見て、一段高い視点で国の行く末を見ていた。西郷隆盛や桂小五郎でさえ、思考の中心は薩摩藩であり長州藩であったに過ぎない。命を天に返すという明確な理念をもち、日本を近代化へと導いた天才だ。時代に先駆けた技術で、音声対話システムやVoIPをリード。『音声』に関する先進の技術で、「命を天に返す」との覚悟と情熱だ。常識的な、類型を嫌い、自主独立と独自にこだわり続けている。もっと自由に、もっと快適なコミュニケーションを実現することこそ、同社の明確な理念であり故にその歩みも鋭い。

(株)エクスミス

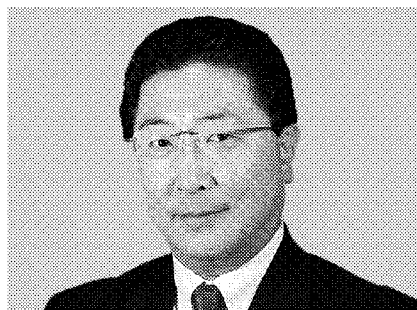
代表取締役社長 山田 悟氏
東京都台東区東上野1・20・4



山田顕義は「日本の小ナポレオン」といわれ、陸軍中将、殿一等伯爵、初代司法大臣を務めた松村門下生。明治維新期の軍人として貢献し、近代日本の法典整備に力を尽くした。日本法政学校(後の日本大学・国学院)後の国學院大学を創設。とりわけ日本大学は彼を学祖としている。ジュエリーリフォームの業界先鞭。オリジナルジュエリーの創造でも水準以上の実績を有するが、同社の強みは独自のノウハウを踏まえた上でのリフォーム催事や展示会催事だ。品質管理、商品開発、販売手法など、いずれも長い信用に基づいた専門企業ならではの展開で、日々成長、飛躍を続けてきている。

(株)アドバンスセキュリティ

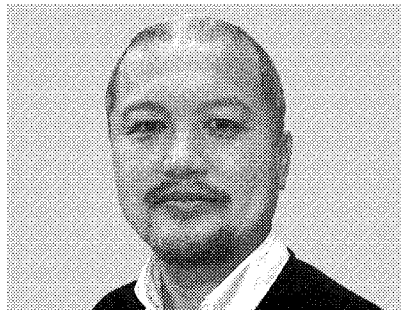
代表取締役社長 小泉 久也氏
東京都渋谷区初台1・46・3



木戸孝允(桂小五郎)は吉田松陰に兵学を学び、高杉晋作らと共に藩の指導的立場に登った。尊王攘夷運動に暴走する長州藩にあって、常に冷静な行動をとるそれが自身の命をも守った。新政府では参与、参議などを歴任。版籍奉還、廃藩置県など、国の新しい形の基礎を作った。小売業が抱える大難題「ロスマネジメント」解決のプロフェッショナル。精度の高い多様な防犯監視システムを運用し、各業種、企業形態に応じた製品の提供で、各クライアントの業績アップに貢献している。売上の側と買手の信頼関係を損ねず、スムーズな販売を後押しすることが使命と銘肝する。業界の優等生だ。

(株)アイ・ディー・エー

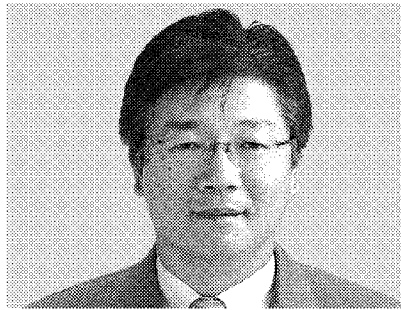
代表取締役 藤岡 典宏氏
東京都世田谷区北沢2・35・2



桐野利秋は立木打ちで独り剣の練習を積み、自顕流の使い手として人斬り半次郎の名で幕府側を震えあがらせた。西郷隆盛をあたらしく神のようにならせた。西郷隆盛を助けた大隊長から陸軍少将、陸軍裁判所長まで累進。西郷とともに生き、西南戦争は桐野の戦争だったと言われるほど奮戦。当代一の「GPS」の使い手として、楽市場で人気を博し、一般消費者や各種学校法人から幅広い支持を得ている。通信販売からソフトウエアまで、より良い商品を、より良い価格で、誠実に「に」を経営の基本理念にひたすら修業、鍛錬を重ねてきた。GPSの先陣大将であり、アウトドア製品の販売でも伸展中だ。

(株)エヌコム

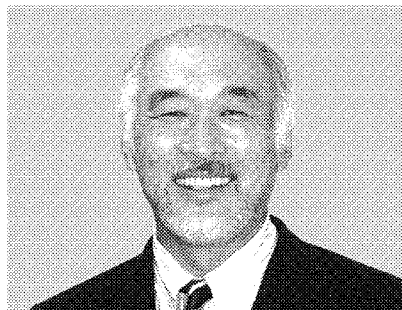
代表取締役社長 新田 恒夫氏
東京都文京区本郷3・23・14



大山巖は国産初の臼砲を開発した西郷隆盛の従弟。フランス、スイスへ留学して軍事学を学んでいたが、西郷下野で急遽帰国を命じられ、西郷に上京を求める説得工作にあたる。西南戦争では肉親を敵に回して戦う苦痛を味わった。会津出身の松を妻として世間を驚かせている。電子カルテシステムを中心に各医療機関向けのアプリケーション、ネットワークインフラセキュリティインフラに取り組み、人と医療の架け橋として着実な伸展を続けている。未来派企業。医療社会の電子化促進という時代の趨勢を捉え、その先覚者となるべく奮戦中だ。より高みを目指して研鑽態勢に余念がない。

(株)アイルビーソリューションズ

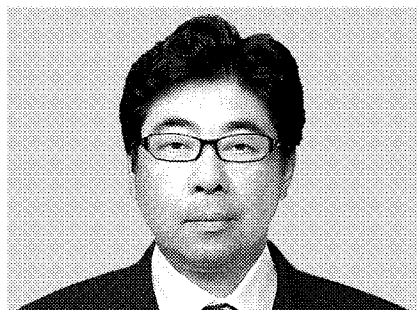
代表取締役社長 石渡 弘行氏
東京都千代田区神田東松町43



板垣退助は戊辰戦争で新選組を撃破、軍略家の才能を発揮し、会津戦争の指揮官となる。維新後、新政府の参謀となったが征韓論争に敗れ、西郷隆盛とともに下野、自由民権運動を推進した。板垣死すとも自由は死せず」という文句を残した日本近代化の旗頭であり、先兵でもあった。豊富な経験と知識をもとにIT技術を駆使する業界旗頭。システム構築コンサルティングとシステム設計エンジニアリングとサービスを柱に、卓越の問題解決提案力で多種多様な顧客企業の成長を支えている。更なるグローバル化に向け、IT技術はもとより人と人とのコミュニケーションを大切にしている軍略家だ。

(株)根上産業

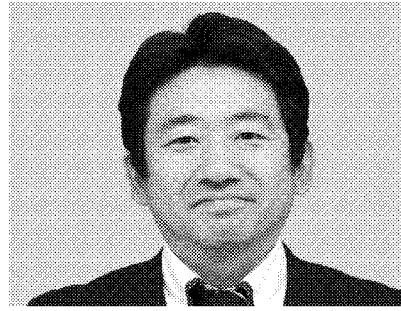
代表取締役 根上 尚登氏
埼玉県川口市駒場1・60・1



武市半平太は、志気高潔、凛然寒梅一枝香。二艦シテ情香ヲ放ツガ如シ」と評された土佐勤王の盟主。坂本龍馬を始め、中岡慎太郎、田中光顯ら百九十二名が署名した血判した土佐勤王は、倒幕運動の先駆けとなり、時代の大きなうねりと新しい展開を引き寄せる起爆剤になったのである。自動車用を中心としたエンジニアリングプラスチック部品の製造、販売の先駆け。特に自動車用電装樹脂成形品など、より高品質・高機能製品が求められる分野において高い評価と実績を培ってきた。昭和33年創業の堅実経営で2005年に開設した測定センターに見られる進取精神こそが、同社成長の推進力だ。

(株)日本システム研究所

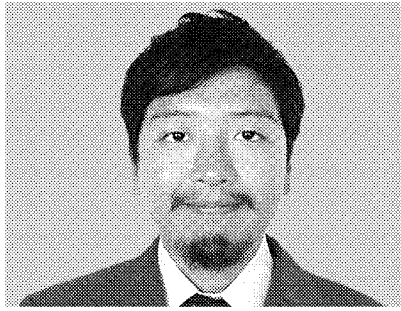
代表取締役社長 松下 幸夫氏
神奈川県川崎市中原区小中5・11・21



井上馨は大蔵大臣、農商務相、蔵相を歴任して侯爵となり、元老の座まで上り詰めた後、文久三年に伊藤俊輔(博文)ら計五名で留学と称してイギリスへ密航した。近い将来、先進文明を身につけて帰国する、という強い意志と持ち前の経済感覚の鋭敏さで、維新の屋台骨を築いた。主に食品業界向け容器製造工程における全数検査システムの開発で他社の追随を許さない独自派企業。また、素肌の水分や油分を正しく測定し、女性たちの美しさに貢献する高度な診断機においても、業界のパイオニアとして独壇場の信頼だ。1968年の設立から既に45年の歴史を培い、信用の屋台骨も強い。

(株)ゲットイット

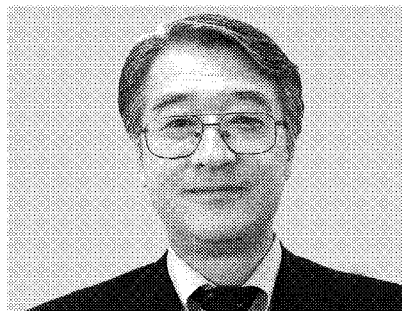
代表取締役 廣田 優輝氏
東京都中央区勝どき4・14・22



中岡慎太郎は誠実な人柄で、農民を困らせまいという国家単位を使命とし、それはやがて国家単位の救民の思想に育っていった土佐藩脱藩志士。坂本龍馬とともに薩長同盟を実現させるべく奔走して、粘り強い努力を続け締結にこぎつけた。常に未来を見据えていた秀才だ。業務用サーバー機器の中販売事業を軸とし、その一方で家庭用品の輸入事業、デジタルカメラの開発事業などを展開。ニッチマーケットまでを提供する超一流プロ集団だ。OSSシステム設計・構築・保守サポートサービスやセキュリティ・コンサルティングサービス等、人とITシステムとの間を快適な環境で結ぶ秀才企業として、その成長は力強い。

(株)関東白蟻防除

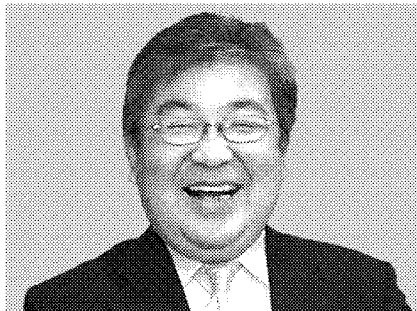
代表取締役 南山 和也氏
東京都練馬区関町南4・16・19



篠原国幹は軍略に秀で、威望を集めた藩校・追手館主の秀才。西郷に心酔し、西郷下野を聞く陸軍少将を迷わず辞職、帰郷した。政府内にはその損失を借しむ声が多かったが、西南戦争では薩軍一番大隊長として政府軍を告げた。知性も教養も備えつつ、義に従った英傑。「緑ゆたかな地球のために」のキャッチフレーズのもと、住まいのプロとして住宅の長寿寿命化に貢献するマイスター。シロアリや害虫を殺虫する駆除ではなく、防いで寄せ付けない防除が同社の、軍略。であり、中でも新築住宅の予防工事においては全国でも有数の存在だ。知性と教養を備えた正統派企業である。

(株)JMC

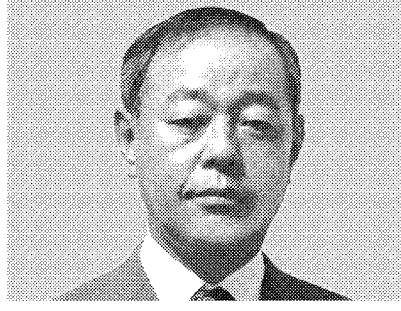
代表取締役社長 吉岡 昌明氏
東京都新宿区高田馬場3・3・3



小松帯刀は身分の低かった西郷隆盛や大久保利通の才能を見抜き、破格の抜擢された薩摩藩家老。龍馬の亀山社中を支え、薩長同盟の締結にも立ち合った。慶応三年(一八六七)十月、慶喜に大政奉還を勧めながら同時に、討幕の密勅も得ていた真実で薩摩を維新の主役と導いた巨匠だ。教育の情報化を支援する、学校教育市場に特化した専門企業。1975年の設立以来、学校のニーズに合ったサービスを提供し、強い信頼関係を築いている。情報通信技術の飛躍的な発展に伴い、学校のICT環境の進化も目覚ましい。同社は、そのICT導入・運用・活用支援で、圧倒的な実績と人材を誇る柱石だ。

(株)ケミコート

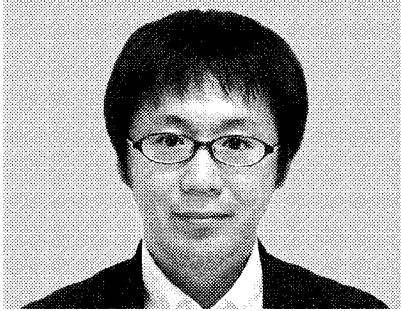
代表取締役社長 中川 完治氏
千葉県海浜市北栄4・15・10



江藤新平は旗幟を鮮明にできず、猜疑の目を向けられた肥前藩を持ち前の先見力和維新政府内につながらる人脈で、窮地から救った浩然の気の異才。不遇の中でも志を失わず、自らの力が必要とされる時代を待った。左院副議長や初代司法卿などの要職に就き多面的な業績を残している。表面処理の技術開発とその製品の販売で、半世紀以上、昭和32年創業の歴史の年輪を刻んだ多面派企業。表面処理は金属の腐食を防ぎ、外観の美観を保つが、自らも表に出ない縁の下で力持ちだ。同社の真面目、勤勉な社風もここに起因している。表面処理薬剤の他、派生技術を活かして関連商品を開発し評価が高い。

(株)コンバージョン

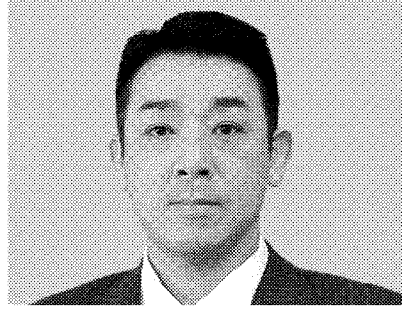
代表取締役社長 外池 直人氏
神奈川県横浜市中央区磯崎町3・21・2



大島圭介は幼少時からずば抜けた秀才だった。結方洪庵の通塾で蘭学、江村太郎左衛門の塾で兵学を学び、いずれも塾頭への評価を得ている。蘭書の翻訳から中浜万次郎より習得した英語、仏式兵学まで、どれを取っても超一流で箱館戦争の後、故父に取って新政府の重きをつけた。トータルソリューションカンパニーの俊英。セキュリティに重点を置いたサーバ構築から運用サポートまでを提供する超一流プロ集団だ。OSSシステム設計・構築・保守サポートサービスやセキュリティ・コンサルティングサービス等、人とITシステムとの間を快適な環境で結ぶ秀才企業として、その成長は力強い。

(株)TMAC

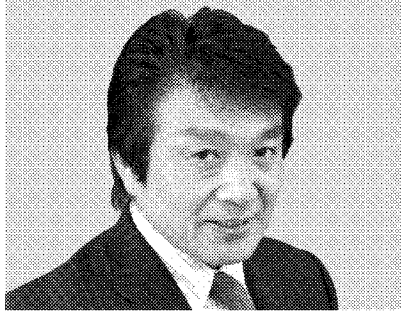
代表取締役社長 古川 英一氏
東京都千代田区四番町8・19



大隈重信は藩校(佐賀)の封建的教育を嫌い、長崎で蘭学、英学を修めた。開明派の藩主・鍋島直正に見出され藩政の最前線に躍り出る。維新当初の政府が抱えた対外的問題の解決にその能力を発揮し、板垣とともに初の政党内閣を実現。近代国家へと出航した日本丸の総針盤であった。経営戦略におけるM&Aを総合的にサポートする21世紀型企業経営の羅針盤。戦後ニッポンの成長を支えてきた創業経営者として、スムーズな事業承継は頭の痛い大問題だ。そんなニーズを受けて、同社の躍進も目覚ましい。経営者の理念や将来のビジョンを理解した上で、適確なアドバイスを提供している。

(株)カードックス

代表取締役 坂東 信弘氏
東京都台東区東上野1・23・5



山内容堂は幕末四賢侯の一人といわれた開明派若主で、坂本龍馬、後藤象二郎の案を利用して大政奉還に力を尽くした。勝海舟をして「天資豪傑 襟懷闊達 真に英雄の資を備えていられた」と感嘆せしめ、卓越した政治家であると同時に、幅広い教養を身に付けた文化人でもあった。カードプリンタの世界リーダー「グランドパニー」「エポス社」の日本リベアセンターとして認定された正規代理店。プラスチックカードに直接プリントができるカードプリンタは、今や社員証、診察券、会員証、学生証など写真入りIDカード作成時の必須となっている。仏本社の強力なバックアップもあり好調だ。

Pathfine (株)

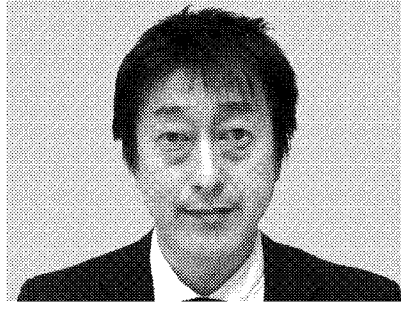
代表取締役 堀井 泰博氏
東京都江東区大島3・3・3



陸奥宗光氏は坂本龍馬率いる「海援隊」の副長格。測量官兼隊長秘書として龍馬の懐刀といわれた。王政復古による明治新政府が発足すると、外国事務局御用掛に任じられ、神奈川県令、元老院議員を歴任。山縣内閣の農商務大臣、伊藤博文内閣では外務大臣として殊腕を振るった英達だ。日本中の中堅中小企業をITの力で元気にする、というビジョンを掲げ、世界に興奮と感動を与えたマーズ・パスファインダーたちのプロフェッショナルな理想としている。培ってきたオンラインワークの技術をもとに経営者視点でのITコンサルティングを標榜し、各取引先企業の懐刀として活躍する俊英だ。

(株)リブアクション

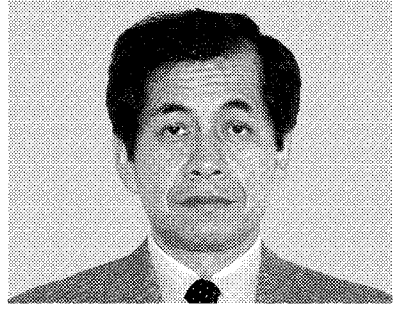
代表取締役 宮本 宏三氏
東京都渋谷区恵比寿1・12・5



鍋島関俊は質素倹約を励行して藩政を整理し、殖産興業政策を推進。また医学に理解を示す。方、軍事にも力を入れた名君だ。独力で反射炉を完成させ、日本で初めて洋式鉄製大砲の製造に成功した。その武力が新政府における佐賀藩の発言力は大きくなり、優位性を保った。独自のネットワークを活かし、都内エリアの中でも、特に希少性の高い物件を厳選。さらに住む人の感性に合った選りすぐりの建築士を専属コンサルタントとして選定し、間取りやインテリア設計、デザインとキメ細かくコミュニケーションを図り、満足の家を提供している。その信頼と実績が優位性を保つ秘訣だ。

(株)スリーウィングス

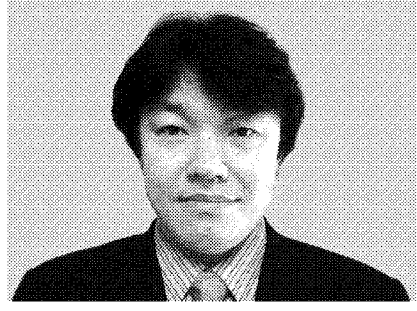
代表取締役 芹澤 幸彦氏
神奈川県鎌倉市手広3・6・30



毛利敬親は「そうせい候」と呼ばれた長州藩主。家臣の言に上ることにして「そうせい」と答えたからだ。桂小五郎や高杉晋作を始め長州藩からは回天の俊秀が雲の如く輩出したのは、有能な家臣に権限を与え自由に行動させた敬親の英断であった。むろん結果の責任は全部負った。人事制度設計コンサルティングと社員教育研修で企業の組織づくりをサポート。知・情・意の3つのバランスを重視したビジネスパートナーの育成が同社の真骨頂である。ビジネスの現場を生き抜く知恵、より良い人間関係の構築、生きる意欲、やる気を育むことで、快適なビジネスライフの創造へと導く気概だ。

(株)アブリ

代表取締役社長 伊藤 泰昌氏
東京都中央区新富1・7・6



吉田松陰は久坂、高杉、入江とともに松平村塾の四天王と称された逸材。文武に優れ、松陰から「無逆」という字をもらい秘蔵。子として将来を嘱望されたが、池田屋事件で沖田総司と激闘。重傷を負って長州藩邸前にとどまり、着々も自刃した。桂は「右腕を失った」と号泣する。業務用ミュージアムシステムの企画・開発を中心に、海外カシノ用スロットマシンの企画・開発及びカジノ関連に関するコンサルティング業務、パチンコ・パチスロ開発事業まで、人間の持つ好奇心と達成感を引き出す。異空想、創造企業。また台湾、韓国向けに和菓子及び日本のスイーツの紹介事業も行っている。